

令和4年度
学校関係者評価報告書

学校法人 石井学園
岐阜調理専門学校

学校関係者評価会議

1 日時

コロナウイルス感染症対策のため、文書での依頼・回収とした。

2 場所

集約場所：学校法人石井学園 岐阜調理専門学校

3 評価委員

委員名	所属	役職	備考
梶川道夫	有限会社大阪屋	代表取締役	回収
大脇房夫	岐阜県調理師連合会	会長	回収
野呂看一	味彩やちぐさ	店長	回収
平井良樹	株式会社ひら井	社長	回収
上山広	日本中国料理協会 岐阜県支部	支部長	回収

4 開催内容

- (1) 学校の状況及び自己評価の送付
- (2) 委員からの意見回収
- (3) 意見のまとめ

5 評価会議に基づく学校評価

評価基準
適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

評価項目	評価となる観点	評価値
0 本年度定めた重点的に取り組む事項について	・社会人としての基本的な生活習慣の確立 ・技術検定の充実と指導の徹底 ・資格指導の充実 ・学生募集	4
1 教育理念・目標に関して	・学校の理念・目的・育成人材像が明確で、社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想が抱かれているか。また、そのことが学生・保護者等に周知されているか。	4

	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育目標、育成人材像等が業界のニーズに向けて方向づけられているか。 	
2 学校運営に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方針が策定され、それに沿った事業計画がなされているか。 ・人事、給与規定が整備され、業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか。 ・教育活動に関する情報公開が適切にされており、情報化による業務の効率化が図られているか。 	4
3 教育活動に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念に沿った、教育課程の編成がなされ、業界のニーズを踏まえた教育レベルや学習時間の確保はされているか。 ・実践的な職業活動の視点に立った教育方法の工夫や、業界の関係団体等の連携により、カリキュラムの作成・見直しがされているか。 ・教育目標を達成するための教員確保がなされ、能力開発のための研修等が行われているか。 	4
4 学修成果に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上、資格取得の向上、退学率の低減が図られているか。 ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価をしているか。 	4
5 学生支援に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・就職に関する支援体制、学生相談に関する体制、学生の経済的な支援体制等が配慮されているか。 ・学生の生活環境への支援が行われ、保護者との連携は適切に行われているか。 ・社会のニーズを踏まえた教育環境の整備がされているか。 ・高校・専修学校との連携によるキャリア教育の取組が行われているか。 	4
6 教育環境に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動に関する施設・設備が十分であり、海外研修等についても十分な育体制がなされているか。 ・防災や衛生管理に対する体制や整備がなされているか。 	4
7 学生の受け入れ募集に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は適正に行われ、学納金は妥当なものか。 	4

8 財務に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の財政基盤が安定しており、予算・収支計画は妥当であるか。 ・会計監査が適切になされ、財務情報公開の体制整備はできているか。 	4
9 法令等の遵守に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか。 ・個人情報 that 適正に保護されているか。 ・自己評価を実施し問題の解決をするとともに、自己評価結果を公開しているか。 	4
10 社会貢献・地域貢献に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育資源や施設を活用して社会貢献や地域貢献を行っているか。 ・学生のボランティア活動を奨励、支援し、地域に関する公開講座等を積極的に実施しているか。 	3

6 評価委員からの意見

○本年度定めた重点的に取り組む事項について

- ・校内ですれ違う学生全てが大変気持ちの良い挨拶ができています。
- ・新聞各紙でも取り上げられるように、生徒たちの実績が確実に積み上げられている。
- ・コロナ渦の中、指導も大変だと思います。安全安心指導はよく理解できました。
- ・挨拶・礼儀他校内の整理整頓、掃除など基本的な生活習慣がついています。
- ・挨拶は十分できていると思います。
- ・新型コロナ感染症については、国の指導は以前より緩くなっているが、集団生活のため守っていくことがだいじである。

○教育理念・目標に関して

- ・民法改正や HACCP など新規の法律を様々に施行される中、良い取り組みをされていると思われる。
- ・先生方は皆さんに周知のためによく頑張っている。生徒たちもそれについていっていると思います。

○学校運営に関して

- ・インフレ経済の中、様々な工夫もされ、運営されていると思われる。
- ・教職員に対しても、働き方改革を鑑み、適正に変革されていると思われる。

○教育活動に関して

- ・業界とも適正に話し合いも行われ、時代に即した運営がされている。
- ・人材確保が難しい中、現在のところ適切な教員確保ができていると思われる。さらに未来を見据えて業務にあたることが望まれる。

○学修成果に関して

- ・成年年齢の法律が変わったためか、退学する業務の改革が望まれる。
- ・卒業生の就業状況の把握をさらに行われるとよいと思われる。
- ・在校生との活躍はメディア等でも取り上げられ、大変良い運営がされていると思われる。
- ・飲食現場で研修を行い、より実践に近い形で、高度な技術を習得し、就業意識を持てればよいと思います。
- ・心のこもった教育をしておられると思います。

○学生支援に関して

- ・時代に即した運営がなされており、大変良い。

○教育環境に関して

- ・しっかりと整備されて入り大変良い。

○学生の受け入れ募集に関して

- ・時代に即した業務がされているが、インフレ社会やアフターコロナ等社会情勢を鑑みた運営を考える必要がある。

○財務に関して

- ・適正である。

○法令等の順守に関して

- ・適正である。

○社会貢献・地域貢献に関して

- ・問題点は分析されているので、今後に期待したい。
- ・コロナ渦の中、社会貢献、ボランティア活動は制限があり難しいと思います。来年度からコロナの制限がなくなりますので期待します。
- ・学生みずからが取り組み、参加できるように支援していくことが望ましい。

7 まとめ

- 各項目とも、概ね「4：適切」という評価で、全体的には自己評価と同等、もしくは上

回っている。

○多くのご指摘やご提案をもとに、来年度以降、次のように継続・対処したい。

- ・挨拶は標語を「挨拶ファースト（ぺこり、にっこり、ほっこり）」とし継続する。
ただし、学生は毎年変わるので、粘り強く声掛けをしながら、本校の伝統になっていくことをめざす。
- ・高校3年間をコロナ禍で過ごした生徒が入学してくることを理解し、生徒とのコミュニケーション、非常勤を含む教職員とのコミュニケーションを更に強化していきたい。
- ・非常勤の先生方とは、コミュニケーションを図る時間がとりにくいのが、個人情報以外のことは、LINE やメールを有効に活用しており、今後も継続したい。
- ・現場での体験を含めたボランティア活動については、いわゆる学校管理下において、授業内に組み込んでインターンシップ等ができる大変有効である。しかし、単位修得のための標準時間数を削るわけにはいかない。そこで、現在も行っているが、なるべく調理系のアルバイトを勧めるようにしたい。そのために、卒業生が就職した事業所などをアルバイト先として紹介することを考えたい。
- ・独立、開業の方策については、岐阜県信用証協会から講師を招き、開業するまでの必要資金や立地条件の選定、人流等のマーケティングを学んでいるが、今後も開催し、生徒の夢の膨らみ、実現につなげたい。
- ・高等学校を直接訪ね、校長や進路担当者と懇談を持っている。県内公立高校 60 校、私立高校 31 校に対し、60%以上の高校を訪問している。これは、生徒募集だけではなく、本校の教育理念の周知、その高校の卒業生の進路先などを提示しながら、「各高校との繋がり」をさらに構築していきたい。
- ・本校入学生徒の出身高校へ出向き、現在の本校で学ぶ姿を「卒業生頑張っています」の写真付きポスターを作成し、配布、校舎内掲示を依頼しているが来年度も継続。
- ・夏季休業中等を活用し、教員（調理助手）を現場（和食、洋食）研修する機会を設け、研修後の他教員に対するスキルアップにも寄与したい。さらに、今後の生徒の進路活動にも活かしたい。